2020年12月13日屋外彫刻調査保存研究会

「三木宗策のアトリエ調査と石膏原型」

中山恵理（郡山市立美術館学芸員）

●三木宗策（1891～1945）について

郡山市生まれ。1906(明治39)年高村光雲門下の山本瑞雲に弟子入り。1916(大正5)年文展に初入選、1925(大正14)年第6回帝展で特選。その後、審査員等をつとめながら、新文展まで出品が続く。

他に巽画会や日本彫刻会、東京彫工会等へ出品。また1917(大正6)年栴檀社、1921(大正10)年曠原社、1931(昭和6)年日本木彫会、1940(昭和15)年正統木彫家協会の結成に参加。光雲の下で瑞雲とともに当たった本郷・大圓寺の七観音造立など仏像制作も多く、県内では肖像彫刻も多く手がけたことが知られる。

●パブリック・コレクション

福島県立美術館、東京芸術大学、耕三寺（広島県尾道市）

●主要資料

発表当時の新聞雑誌による展覧会評

1979年『原色現代日本の美術　第12巻　彫刻』

2002年三木多聞著・発行『三木宗策の木彫』（アートオフィス星野編集）

2011年「抱きしめたい！近代日本の木彫」展（高岡市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、広島県立美術館）

2012年『近代日本彫刻集成第二巻　明治後期・大正編』

2013年『近代日本彫刻集成第三巻　昭和前期編』

2015年「三木宗策の世界」展（郡山市立美術館　10月31日～12月23日）

2018年拙稿「三木宗策研究」（『郡山市立美術館研究紀要第9号』所収）

●現地

東京都北区中里、隣に新海竹蔵宅があった。

1929(大正8)年借地、自宅等計画（三木多聞『三木宗策の木彫』）

●調査の経緯

2018年4月23日多聞先生没後、資料の整理を夫人からご依頼いただく。

寄贈受入先　東京文化財研究所、東京国立近代美術館、早稲田大学他

2019年度美術館連絡協議会の美術館活動助成【個人・グループ研究事業】採択

夏　　古書店、リサイクル業者の搬出

秋以降　図面作成のための現場確認、測量等

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復建造物研究室

上野勝久教授、金出ミチル講師

2020年2月画像撮影

監修　和光大学三上豊教授、カメラマン　桜井ただひさ